



F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：地域に響く高校生ミュージカル



2023年度より、中学校の部活動について段階的な地域移行が進められています。全国で様々な取り組みが始まっており、藤沢市でも藤沢市部活動地域移行推進協議会によって検討されています。そんな中、新たに高校生向けの地域の部活が高校生自身によって作られ、活動し始めました。今号では、藤沢市ミライカナエル活動サポート事業の助成対象団体にもなった、高校生ミュージカル Aqua（以下、Aqua）の活動場所に向いてお話を伺いました。

訪れた活動場所は伊勢山市民の家。その日は脚本についてのミーティングの日でした。Aquaでは団体の運営や制作なども高校生主体で取り組んでいます。Aquaを立ち上げた小泉梨乃さん

は、「日常生活の中で、人に合わせることで環境を作っていることに違和感を持ちました。この活動を通して、ありのままの自分で自分が好きだと思える生き方をしてほしい。それをミュージカルでも伝えたい」と語ります。脚本も原作があるものではなくオリジナルで、独自の世界観を通じてメッセージが伝わるように、内容を作っている最中でした。現在は週に2回ほど集まって練習などを行っています。歌やダンス演技について、上手なメンバーを中心に教え合うほか、空いた時間で広報活動や運営に関わる作業を進めているとのことでした。（つづく）



地域に響く高校生ミュージカル

Aquaの立ち上げについて小泉さんは「中学生のころからミュージカルが好きで、自分でもやりたいと思ったんです。ただ、やるなら同年代の仲間と思い切りうちこみたくて、でも自分の理想に合う団体は中々見つけれませんでした」と語りました。無いなら自分で作ろうと思い、市民活動推進センターに相談。自分で団体を立ち上げることを決心してメンバーの募集を始めたところ、中学校の同級生だった浅川花和さんがSNSの投稿に反応。現在は共同代表を務めています。

メンバーがそろってからも課題は多く、助成金があっても日常の活動では金銭面の負担もあります。小泉さんによると「住んでいるところも離れているので、時間や交通費もかかります。コンスタントに集まるだけでも結構大変です」とのこと、一番遠くに住んでいるメンバーは横浜市から1時間半かけて来ています。



脚本についてのミーティング

そういった苦労はありますが、メンバーも活動から様々なものを得ています。浅川さんは「ミュージカルがやりたいと思ってはいたが、はじめの一步を踏み出すことができなかった。自分の挑戦してみたいことを受け入れ、挑戦させてくれる環境が欲しかった」とのことです。また、メンバーの藤川さんは、「自分もともと居場所に悩んでいた面もあって、Aquaに参加して視野が広がった今は、同じような子たちの居場所にもしていきたい」と語りました。増山さんは「高校に入ってから音楽に関わる仕事をしたいと思うようになり、音感や歌も上手くなりたいたと考えたところでAquaに出会った。Aquaと関わっていくうちに人に寄り添うような曲を作りたいと思い、作曲の授業



湘南台でのイベント出演の様子

が取れる大学を目指している。将来Aquaの経験と大学で得る知識を活用して、人に寄り添えるような曲を作る作曲家になりたい」とのことです。小泉さんも「ミュージカルをやる目的だけで始めましたが、集まるみんなが素直になれる場所になったのはとても素敵だと感じています。私は将来、ミュージカルを通してそのような場を作りたいと考えています」と語りました。

今後の動きについて小泉さんは「地域の部活としてきちんと進めていくために、地域の方にどう関わっていただけるかに悩んでいます。色々な人たちとつながる方法を模索しているところです」と語ります。実際、金銭管理などで大人の協力を得ているほか、イベント参加や協賛募集のほか、制作や運営に携わってくれる人を探すなど、公演に向けて様々な試行錯誤をしています。

今回の取材を通じて、学校の枠を越えて地域の中で学生自身が部活を運営することの大変さも感じました。ただ、それ以上に成長する場としての価値の大きさも見えてきます。浅川さんは「自分たちでゼロから作り上げた物なので、この企画の良いところは何か、どうしたらそれが伝わるのか考えることで、自分の物事に関する考えが深まり、成長できた」と語りました。学校の部活でなかなかできない経験を積み重ねることが、視野を広げたり、将来について考えることに一役買っている印象を受けました。

公演は、来年3月30日に新堀ライブ館で実施予定です。高校生たちがゼロから作り上げた成果について、地域の人々にぜひ見届けてほしいと感じました。

(取材と記事作成：関野)

団体紹介

高校生ミュージカルAqua

設立：2023年4月

会員数：14人

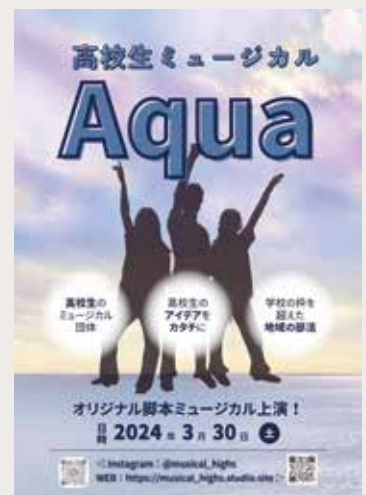
代表：小泉 梨乃

WEB:

https://www.instagram.com/musical_highs/
[mail:musical_highs23@gmail.com](mailto:musical_highs23@gmail.com)



2023年4月、新たに立ち上がった団体"高校生ミュージカルAqua"です!!プロとして舞台上立つ方々に技術指導を受け、参加する高校生のアイデアをもとに企画・運営を行います。1年を通して活動し、本格的なオリジナルミュージカルを上演予定です。新しいからこそ、やりたいことがカタチにできる!同年代だからこそ、本音で話し合い、熱中できる!ゼロの状態から自分たちの手で舞台を創り上げる未知の挑戦、わくわくしませんか?



市民活動団体の収入は、当たり前ですが、分野や団体ごとにどんな収入がどれだけの割合を占めるかが異なります。ある団体は寄付を広く集めることができたり、ある団体は会員が多く会費収入が多い、ある団体は販売や事業によって収入を得ているなど、収入源は団体の特徴を表しているといえます。今号では、そういった収入の種類についてお伝えします。

会費

会費（参加費やレッスン会費ではなく、正会員・賛助会員会費のみを指す）は非営利団体の最も一般的な収入源です。会員の数は地域や社会にどれだけ活動への賛同者がいるかの表れでもあります。また、会費は純粋な団体資金ですので、使い道の自由度も高い収入です。会費収入の増加は団体の資金基盤の強化につながります。会員の間口を広くすること、賛助会員の積極的な募集を行うことは、どんな収入構成の

団体にとっても非常に重要です。

寄付金

寄付金は、一般的には公益性や社会・地域からの関心が高い団体にとって収入の選択肢になります。ただし、寄付者（候補）とのつながりづくり、広報に関する技術や努力が相応に必要になります。会費同様使い道の自由度は高いですが、継続した収入にしていくには工夫が要ります。事業開始や、突発的な困りごとがあった際には、比較的募集しやすいタイミングといえます。

補助金・助成金

補助金は、団体の事業・活動等が所定の条件を満たしている際に、主に公的機関に申請して受給されるものを指します。助成金は、募集元の条件に合わせて、審査を受けた内容に対して受給されます。いずれも使い道が細かく指定されることが多いです。特定の事業を実施するためには心強いのですが、分野によっては適するものが少ないこ

ともあるため、自団体における補助金・助成金等の優先度はよく見極める必要があります。

事業収入

サービスや物品の販売など、活動からの直接的な収入が事業収入です。レッスン・スクールなどにおける参加費も該当します。使い道の自由度は高いですが、事業自体に資金が必要なことも多いので、収支のバランスを見極める必要があります。受託事業の場合は、使い道の指定があるのでご注意ください。

現実的には、これらの中から複数の収入がある団体が多いかと思えます。お金の課題がある場合にも、事業のために足りなければ助成金申請、基本的に収入が少ないのであれば会員募集に力を入れるなど、目的に合った収入増を目指すことをお勧めします。（せ）

メタバースに触れる日がある

コロナ禍の真ただ中の2021年12月、政府の規制改革推進会議で出された「当面の規制改革の実施事項」の「大学設置基準等の見直し」の中で、「文部科学省は、オンライン授業と対面授業の二項対立から脱した質の高い教育を実現するため、オンライン授業・対面授業双方の質保証の在り方を検討するとともに、学生個人に応じた教育の実現に資する学びの形式の多様化や技術革新によりメタバースを活用した授業等従来のオンライン授業・対面授業の区分を超えた授業が活用されるようになることなども想定し、学修者本位の学びを実現する観点から、オンライン授業の卒業単位への算入上限の削除の可否を含め、在り方を検討する。」という記述がありました。当時、大学の教員をしていた関係で、急速に授業形態が変わり、オンライン授業がようやく身につけてきたところの発表に、「メタバースを活用した授業」は、想像もつきませんでした。

メタバースは、ショッピングや美術鑑賞をはじめ、ボランティア募集まで新しいコミュニケーションツールとして日々拡大しています。そもそもメタバースは、「Meta」と「Universe」から作られているといわれ、「Meta」という言葉は「異なる次元からの観点」や「超越した」などの意味合いを持ち、「Universe」は「宇宙・世界」を意味することから、メタバースは【目の前の現実や次元とは異なる現実や次元の世界】を指すとのこと。

所属しているNPO法人でもメタバースやVRを活用した障がい者の生涯学習企画事業が本年度より始まりました。市民への障がい理解の学習機会の提供を、メタバースを活用することにより、障がいの有無にかかわらず、多様な参加者が集まりユニバーサルな学びの場を創ることを目的に『Fujisawa メタパラダイス of Arts』を11月12日（日）にサンパール広場ガーデンパークで開催します。現在、神奈川県内だけでなく、全国から障がい者のアート作品をメタバース会場で展示するため、募集しています。リアル会場では、アートと音楽のワークショップ、VRゴーグルを使っでの体験会など、メタバース会場では、藤沢市の公式キャラクター「ふじキュン♡」の仕掛けたっぷりのイベントや、文科省アドバイザーの引地達也先生（みんなの大学校長）をお迎えし、障がいについて知って学ぶフォーラムを展開する予定です。文部科学省や神奈川県、藤沢市の後援もあり、安心して新しいコミュニケーションツールに触れるまたとないチャンスです。勿論オンライン参加も大歓迎です。少しの時間【目の前の現実や次元とは異なる現実や次元の世界】を、のぞいてみませんか。（て）

なぜなに

NPO

vol.171



講座・イベントの

ごあんない

イベント	日時
■マネジメント講座「代表と経理担当のための基礎と実務」	10月22日(日) 13:30～15:30
■市民活動団体の活動状況調査(2023年度実施)	10月9日(月)～11月10日(金)
■IT講座「らくらく Google 講座」	10月23日(月) 13:30～16:00
■市民活動パネル展示出展団体募集	11月5日(日) 申込締切
■プラザ de カフェ スマホで簡単!きれいな写真を撮ろう	11月12日(月) 10:00～12:00

NEW!

支援施設からのお知らせ

■マネジメント講座「代表と経理担当のための基礎と実務」

助成金を申請するときや年度決算報告に必要な予算書や決算書を普段からきちんと整えておくことで、必要なときに作業が簡単になる日常的な非営利団体の経理処理の実践方法を伝授します。

日時: 2023年10月22日(日) 13:30～15:30

会場: 市民活動推進センター会議室またはオンライン

料金: 1,000円 ※学生・18歳以下は無料 定員: 30名

対象: 公益的な市民活動を行っている団体や個人

講師: 関野 豪星氏(市民活動推進センター長)

主催: 藤沢市市民活動推進センター



■市民活動団体の活動状況調査(2023年度実施)

今年度も当施設調査研究事業へのご協力、よろしくお願いいたします。

登録団体および市内NPO法人の皆さまにおかれましては、本情報誌に同封した調査票をご覧ください。また、QRコードのリンク先にあるフォームからもご回答いただけます。

ご注意: 例年、返信用封筒を調査以外の目的に流用される事例が発生しております。封入物は調査票のみにしていただけますよう、お願い申し上げます。

期間: 2023年10月9日(月)～11月10日(金)

対象: 主に藤沢市内で活動しているNPO・市民活動団体

お問い合わせ 藤沢市市民活動推進センター



■IT講座「らくらく Google 講座」

Googleサービスの使い方「ドライブ」「スプレッドシート」「ドキュメント」「音声入力」など無料で使える便利なサービスを幅広く学ぶことができる入門講座です。初級～中級向けの講座となります。

日時: 2023年10月23日(月) 13:30～16:00

会場: 市民活動推進センター会議室またはオンライン

料金: 1,500円 定員: 10名

対象: NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

主催: 藤沢市市民活動推進センター



■市民活動パネル展示出展団体募集

市民活動団体の活動を広く一般市民の皆さまに知っていただきたく、市役所1階ラウンジにてパネル展示を2023年12月～2024年1月に行います。

締切: 2023年11月5日(日)

展示期間: 2023年12月26日～2024年1月14日

会場: 藤沢市役所1階ラウンジ 定員: 30団体

対象: 藤沢市市民活動支援施設登録団体

説明会: 11月12日(日) 13:30より推進センター内

■プラザ de カフェ スマホで簡単!きれいな写真を撮ろう

スマホは電話やLINEだけではなくありません。きれいな写真が撮れるコツを学び、SNSなどに活用し、団体活動の発信力を向上しましょう!

日時: 11月12日(日) 10:00～12:00

会場: 六会公民館2階第1談話室

料金: 無料 定員: 30名

講師: 六会写真クラブ 中山 謙一郎氏、同団体メンバー

締切: 11月8日(水)

主催: 市民活動プラザむつあい



発行: 藤沢市市民活動支援施設

本館: 市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館: 市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集: 認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です!